

南大分中学校ヤングキャリアアドバイザー講演会

講演日：令和6年11月5日(火)

紺田 丈平さん
【(株)トキハ】

演題 好きな自分で働こう!!



百貨店で婦人雑貨の販売員をしている紺田さん。自己紹介の後、仕事内容では楽しさや、やりがい、大変なことを話しました。インスタライブで商品紹介をしていることや、物産展の魅力を語りました。社員にしか分からない「百貨店の秘密」も話しました。

生徒の皆さんに「勉強、部活、何でもいいので一生懸命取り組んでみてください。実るかどうかは分かりませんが、その過程が為になります。今この時期に頑張ったことは大人になって頑張ったよかったです」と伝えました。明るいクラスで、講演が貴重な経験になったそうです。

藤田 ひかるさん
【(株)テレビ大分】

演題 テレビの裏側、覗いてみませんか？



テレビ大分の広報をしている藤田さん。母校での講演です。テレビ大分で放送する番組を決める編成などの仕事をしています。番組のタイムテーブルを配り、放送する番組を決めていく編成の仕事内容について説明をしました。

自分の中学時代の経験から「どんなことでもまずは挑戦してみましょう。1年生の時は人前に出るのが苦手でしたが、2年生から学級委員や執行部に挑戦し自信をつけることができました」、「自分の好きなことをたくさん見つけましょう。自分で自分を楽しませることができるようになり、余裕が生まれます」と伝えました。母校での講演は楽しかったそうです。

秀平 拓海さん
【大分三菱自動車販売(株)】

演題 整備士のやりがいとは



自動車整備士の秀平さん。会社や整備士の仕事をクイズ形式で紹介しました。生徒たちはグループワークでメカグルマの工作を行い、どの班が一番最初に作り終わるか、班員同士でお互いに助け合いながら競争をしました。

生徒の皆さんに整備士のイメージを聞いた後、「学生の間だけでなく、大人になっても資格を取ったり勉強することは続くので、勉強することは大事です」、「社会に出て人と関わっていくし、仕事はひとりでは出来ません。人との繋がりを大事にしてください。勉強はひとりではなく、いろんな人と勉強をした方がいいです」と伝えました。母校での講演でしたが、自分の中学時代と生徒たちの雰囲気が変わっておらず、元気だったそうです。

南大分中学校ヤングキャリアアドバイザー講演会

講演日：令和6年11月5日(火)

小野 英里佳さん
【九州労働金庫】

演題 中学生に伝えたいこと



金融機関の窓口対応をしている小野さん。九州労働金庫は働く人のための金融機関であることや、質問を交えながら、仕事内容、やりがいなどを話しました。物価高の話や投資の説明のほか、練習用の札束で扇形にする数え方を代表の生徒が実践し、クラス全員で紙幣を数える体験をしました。部活など中学時代に頑張ったことを話し、「夢を目指していくと挫折や諦めもあります。楽しいことを見つければ夢は必ず見つかります。嫌だなと思うことでも少しでもやってみると、それをしたからこそ見えてくる道もあります」と伝えました。明るいクラスだったそうです。

植木 大智さん
【(株)三井E&S】

演題 線を描いてモノをつくる仕事



港湾クレーンの設計をしている植木さん。会社や仕事内容を説明しました。クレーンの高さクイズでは、生徒たちはクレーンの大きさに驚いていました。実際に落下防止のフルハーネスを見せ、2個ついているフックを、1個だけかけた方が安全か、2個かけた方が安全か生徒に考えてもらいました。生徒たちのリクエストで、先生がフルハーネス装備体験をしました。クレーンから落ちないという当たり前が一番大事だと説明しました。生徒の皆さんに「たくさん挑戦してください。先生や家族など身近な人の仕事に触れ、何をしているのか興味を持ちましょう」と伝えました。明るいクラスだったそうです。

片原 由貴子さん
【(株)あすらん 一般社団法人あすらん】

演題 なんで勉強せんといけんの？
～起業したからこそわかったこと～



小学生から大学生までの学びのサポートの運営をしている片原さん。何で勉強をしなければならないのかを説明していききました。5科目は「将来何に使うのか?」。5科目すべて使うときがくることを、ペットボトルのお茶を例に出して説明し、全ての教科が使われていることを話しました。生徒の皆さんに「夢はたくさん持った方がいい。物はいろんな見方をしましょう。考えて動ける人になりましょう。大切なものを優先的にしましょう」と伝えました。最後に、今日の講演を思い出してもらえようと手作りキーホルダーを生徒全員にプレゼント。キーホルダーをもらう順番は生徒たちが意見を出しあって決めました。

南大分中学校ヤングキャリアアドバイザー講演会

講演日：令和6年11月5日(火)

山下 育さん
【国際NGO（海外事業管理）】



演題 世界とつながる仕事

アフリカや中東の国等のコミュニティの問題や課題を平和的に解決する事業展開をしている山下さん。母校での講演です。海外での活動について、ジブチという国をピックアップし、現地の方の暮らしやどんな問題があるか、問題はどのようにして起きるのか、問題をどのように平和的に解決し助けていくのか説明しました。現地の井戸の話をしをしながら、日本のように水道水が飲めるのは豊かな国の証拠だということに生徒は関心を持っていました。

生徒の皆さんに「自分の好きなことを知り、見つけましょう。見つけたら頑張る。人生はその繰り返しで、自分探しの旅です」と伝えました。仕事をするうえで大切なことを話し、この仕事に必要な仕事道具は「英語」であり、英語の勉強法も説明しました。

小出 翔五さん
【大分トヨタ自動車(株)】



演題 中学生の自分と今の自分

自動車整備士の小出さん。写真を使って会社や、自動車の故障を未然に防ぐ仕事内容の説明や整備士になるためにはどうすればよいか説明をしました。実際に使っている工具を初めて見た生徒たちは興味深く楽しそうに触っていました。

生徒の皆さんに「いろんなことに興味を持って欲しい。調べていると、自ずとやりたいことが見えてきます。視野を広げてください」と伝えました。生徒たちは気になることをどんどん質問してくれたそうで、楽しい講演だったそうです。



1年生9クラス。これからの勉強にも繋がるような講演でした。
どのアドバイザーからも「明るいクラスでした」という感想がありました。